

2019年1月9日

各 位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

排出物遵法管理ASPサービスの共同運営について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）は、パナソニックETソリューションズ株式会社（代表取締役社長：下里 敬）がインターネットを介して提供する排出物遵法管理ASPサービス「P B a s i s（ピーベイス）」（※）の共同運営に関して、同社と業務協定を締結致しました。

本サービスは、パナソニックグループが自ら活用している排出物遵法管理システムをベースに、さまざまな企業で容易に導入できるASP（アプリケーション・サービス・プロバイダ）サービスで、大手メーカーを中心に多くの企業に利用されています。本サービスは、廃棄物処理委託契約、有価物売買契約やマニフェスト（産業廃棄物管理票）などの整合性とその期限の管理および排出量集計・費用管理などの機能を有し、産業廃棄物をはじめ全ての排出物を事業所やグループ全体で管理することができます。

本サービスの導入により、従来は現場ごとでばらつきが出やすかった廃棄物処理を同一基準で適切に管理することが可能になり、廃棄物に関わる遵法管理が強化されると共に業務工数や廃棄物処理コストの削減などの効率化が図れます。更に、本サービスはASPサービスで提供されることから、初期コストを抑制できるほか、法改正などに伴うバージョンアップやシステムの運用・保守についての利用者側の負担は原則不要となります。

今後、新規顧客への本サービス提供はSMFLが窓口となります。また、ASPサービスのシステムの運営・開発は引き続きパナソニックETソリューションズ株式会社が担います。SMFLは、お客さまのニーズに合わせて本サービスの機能の提案や企画・開発に参画し、一層の顧客サービスの向上を図り、顧客基盤の拡大に努めます。SMFLからの本サービスの提供開始時期は、本年1月を予定しています。

SMFLは「モノ」を扱うリース会社としてリデュース・リユース・リサイクルの3Rを積極的に推進しており、お客さまの排出物の適正な処理を支援することで、循環型社会の実現に貢献してまいります。

以 上

※「P B a s i s」はパナソニック株式会社の登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】 企画部 広報 IR 推進室 五十嵐： 03-5219-6334